

2025年4月10日

各位

株式会社北洋銀行

環境省北海道地方環境事務所と連携協定を締結しました

株式会社北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、本日付で環境省北海道地方環境事務所(所長 山本 麻衣)と連携協定を締結しました。

本協定は、生物多様性の増進や地球温暖化対策に関する取組等を推進することにより、北海道における自然再興(ネイチャーポジティブ)・炭素中立(ネット・ゼロ)・循環経済(サーキュラーエコノミー)の同時達成に寄与することを目的として締結します。本協定締結により、自然共生サイトとほっこー基金^{*}の連携や、生物多様性の増進・地球温暖化対策に関する地方公共団体や企業等への支援、北海道が持つ豊かな自然環境を活かした持続可能な観光地づくりのサポート等課題解決に向けた取組みを進めます。

当行は引き続き、北海道の豊かな自然環境の維持や生物多様性保全および地球温暖化対策に取り組み、ネイチャーポジティブと脱炭素化社会の実現に貢献してまいります。

※ほっこー基金…北海道の生物多様性保全を目的として道内の希少種保護や生息環境整備等に取り組む様々な団体を幅広く支援する助成制度です。2010年の基金設立以来、累計185先へ9,260万円を助成しました。

記

1. 【連携協定締結式】

- (1)日時 2025年4月10日(木)
- (2)場所 北洋大通センター(札幌市中央区大通西3丁目7番地)
- (3)締結式の様子



右:環境省北海道地方環境事務所
所長 山本 麻衣 様

左:北洋銀行
取締役頭取 津山 博恒

2. 【連携事項】

- (1)野生生物の保護や自然環境の保全等の生物多様性の増進に関する事項
- (2)生物多様性の増進や地球温暖化対策に関する地方公共団体や企業等への支援に関する事項
- (3)自然資源を活用した持続可能な観光地づくりに関する事項
- (4)自然再興・炭素中立・循環経済の統合に関する事項
- (5)前各号に掲げるもののほか、目的達成のため株式会社北洋銀行及び環境省北海道地方環境事務所が必要と認める事項

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。